

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	4. 衛生費	事業名	1. 印旛広域水道用水供給事業出資金及び負担金						
項	3. 上水道費	細事業名							
目	1. 上水道施設費	担当課・係	企画政策課		(執行課: 企画政策課)				

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳	地方債								一般財源
要求額	17,500	92,416	要 求	17,500								74,916
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	多彩なふれあいが広がるまちづくり/生活基盤が充実したまちづくり/印旛広域水道用水供給事業と連携して、水資源							
	【水資源の確保に関する業務】	施策体系コード	05-02-04-10-10			事業番号	63-1			
	印旛広域市町村圏事務組合が所掌する印旛広域水道用水供給事業に	総事業費	630,679千円				事業期間	平成18年度～平成22年度		
	出資し、佐倉市で利用する水資源の確保を図ります。	年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度			
			100,000	100,000	197,104	125,286	108,289			
		(事業実施に関する根拠法令) 地方公営企業法								

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 上水道水源の確保を図るため、印旛郡市広域市町村圏事務組合が実施する印旛広域水道用水供給事業に対して、出資金及び負担金を支出する。印旛広域水道用水供給事業計画:平成22年度一日最大供給水量166,700立方メートル(うち佐倉市48,120立方メートル)、水源:奈良俣ダム(完成)、霞ヶ浦導水、ハツ場ダム、印旛沼高度利用	(事業の目的) 給水人口に見合った水需要への対応と、地下水くみ上げによる地盤沈下を防ぐため、上水道水源の確保及び安定供給を図る。	(事業の効果) 印旛広域水道用水供給事業により、上水道の水源の確保及び長期安定供給化を図ることができる。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点) 国事業については、国から提示された概算予算ベースで計算されている。総枠としては減少している。	(見積についての特記事項) 【税投入理由】 本経費については、地方公営企業法第17条の2により、一般会計(税等)からの支出としている。